

樹木葬

豊かな緑と優しい陽光に包まれた閑静な空間に宗旨・宗派不問の「樹木葬」というかたちで御供養致します。高額な葬儀費用や墓地の購入、そして墓地の継承を心配する必要はありません。自然の中で安らかに眠ることのできる現代のかたちに合った供養方法です。



瑞蓮寺の樹木葬は、地表面から15cm下の土中に直径30cmの底なし筒があり、御遺骨を筒の中に納め蓋をして土で覆う形態です。御遺骨は筒の中で土に還り、他のご遺骨と混ざり合うことはありません。

四季の移り変わりを豊かに映す墓苑に納骨安置されます

4月中旬には周囲の桃畑に桃の花が咲き乱れ、5月初めには藤棚の花が咲き、彼岸には彼岸花、晩秋には山茶花が咲きます。一年通して花に囲まれる美しい墓苑です。



樹木葬供養料《ご負担目安》……お供養を主体としております

A	既にご遺骨の場合	納骨供養式（本尊前にて） 戒名授与・納骨布施	30万円
B	希望の会場にて	通夜葬儀式（出張し供養） 戒名授与・納骨布施	40万円
C	瑞蓮寺会館にて 葬儀社予算	通夜葬儀式（会場・祭壇） 戒名授与・納骨布施 手続代行・搬送・霊柩車・棺・遺影等一式 ◎参照	45万円 20万円
その他	①過去帳記載のみ ②墓誌に刻む ③個別石塔（彫り含む） ④シェア墓納骨・年間毎	0円 5万円 15万円 3万円	◎火葬料金別途。県外からの搬送別途。 ◎飲食の内容は、ご希望を優先し別途。 ◎互助会などにご加入されている場合は、積立金でのお支払いが可能です。退会手数料はご負担ください。

〒405-0078 山梨県笛吹市一宮町田中 408

(宗) 瑞蓮寺

お気軽にご相談ください

山梨 樹木葬 瑞蓮寺



自然の中に静かに佇む常しえの安らぎ



明治 36 年に作成された俯瞰図「瑞蓮寺之景」では西側山門を中心に高さ 2 メートル程の石垣が両脇に 30 メートル、北側は 100 メートル巡り、東は築山になっています。まさに出城。明治 40 年の大水害で地面が上がり、西側は五十センチしか石垣が見えませんが、北側は当時のままの高さを見ることができます。歴史的に古い寺として今も尚その姿を残しています。

本堂

甲斐の国主武田信玄が約 450 年前に創建したお寺です。火災や天災に遇わずに桃山建築の趣が残っております。阿弥陀如来本尊に見守られています。

庭

初夏から鮮やかな色の蓮の花が咲き、秋には紅葉が池のほりを美しく飾ります。



家族葬専用の会場としてご利用いただけます。

故郷の風土に抱かれる“樹木葬” シェア墓という新提案に注目集まる



自然の中で安らかに眠ることのできる現代の形に合った樹木葬

価値観の多様化により、人々の生き方は千差万別。婚姻のあり方や家のあり方に悩まされず、いきいきと人生を終えることこそ終活世代の望みだろう。瑞蓮寺の“樹木葬”は、個人の自由な生き方を後押しし、お寺の機能に活路を拓く新提案。片岡功康住職は、その需要の高さを早速実感しているという。

**単身者、事実婚、後継者の不在
時代が求める安心の葬送とは？**

「人々の生活様式が変化する中、一人ひとりが望む葬儀や埋葬の方法を探り、提供することで故人と家族の双方に安心してもらいたい」と、瑞蓮寺の片岡功康住職。片岡住職が提案する“樹木葬”は、豊かな自然の中に遺骨を埋葬する新しい供養のかたちだ。豊かな緑と優しい陽光に包まれた境内の一角に、宗旨・宗派不問の墓苑がある。「利用者の中には、『海に散骨することを考えていましたが、このような樹



家族葬会場



明治時代の古い全体図



本堂 約450年前に創建され、火災や天災に遇うことなく阿弥陀如来本尊に見守られている

木葬がなかったからです」という方もいらっしやいました」と住職。自然と一体になるというイメージの良さに加えて、後継者がいない方、さまざまな事情を抱える方にも安心していただける自由さ。それが樹木葬の良さであり、注目が集まる理由だろう。

瑞蓮寺の樹木葬は、シエアリングの墓地（シエア墓）だ。高額な墓地の購入が必要なければ、墓地の継承を心配する必要もない。納骨の様式は地表面から15cm下の土中に直径30cmの底なし筒があり、その筒の中に遺骨を納めて土をかぶせるというもの。他の遺骨と混ざり合う心配もなく、故人の尊厳は保ちながら、遺骨は一人一人が筒の中で土に還る。樹木葬の名の通り、見渡す限りの桃畑が桃源郷となる春にはじまり、夏には藤棚と静けさと呼ぶその木漏れ日にもうっとり。水仙、彼岸花、山茶花など、四季折々さまざまな花が苑を彩る美しさも魅力だ。

「同じ想いの方が次々と訪れていても花とお線香を手向けてくれる」と住職。実際すでに面談の要望は多く、人々のニーズに合った時代が求める供養方法であることを証明している。現場の雰囲気を知りたい人は、ぜひ予約して住職の説明を聞いてみよう。

葬儀プラン充実 歴史ある寺で厳かに送る

時代の先を読む柔軟な新提案のかたわら、瑞蓮寺は武田信玄が約450年前に創建したという歴史を持つ寺であり、地域の檀家さんによって支えられてきた。特に本堂は、火災や天災にあうことなく当時の面影を残し、厳かな雰囲気満ちている。設備が整った葬儀ホールでの葬儀が主流である中、この雰囲気の中で送ってあげたいという要望も多く、通夜・葬儀・樹木葬納骨まで全てを一貫した家族葬や少数人数での葬式プランができる専用の会館がある。

個々の生き様が緑に抱かれ大地に還る。樹木葬々に始まり、さまざまな葬儀プランを持つ同所。送る人も送られる人も不安なくハッピーに日々を過ごして欲しいという願いが背景にある。

同所のパンフレットご希望の方は「山梨の終活」を見たところ記入の上 FAXで申し込みを。



片岡功康住職
浄土宗瑞蓮寺28世。東京都港区大本山増上寺奉職後昭和56年から現職



元禄時代から約300年続く「十夜法要」本堂内の様子。毎年11月第2土曜日19時半



4月中旬には周囲の桃畑に桃の花が咲き乱れ、5月には藤が咲き1年を通して四季の移り変わりを豊かに映す

(宗)瑞蓮寺

〒405-0078
山梨県笛吹市一宮町田中408

山梨 樹木葬 瑞蓮寺 [検索](#)